

学校だより

# 百折不撓

上野原西中学校 学校通信

第 6 号

令和 5年10月 3日 (火)

文責 校長 森 卓弥

TEL 62-3103

## 「第15回若葉祭」 一人一人が大きな成果を得て無事終わることができました！

9月9日(土)に「第15回若葉祭」が開催されました。前日の台風13号の接近により学校が休校となり、翌日の学園祭がどうなるか本当に心配でした。しかし、本校への台風13号の影響もさほどなく無事に「第15回若葉祭」を開催できる運びとなりました。今年度は、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に変更され、保護者の方々の来場も制限がなくなり、生徒達の若葉祭に向けて取り組んできた成果を見ていただく機会ができ、生徒達もひとつひとつの競技に思いを込めて取り組んでいました。

生徒会執行部が中心となって、実行委員会を組織して準備を進めてきた今年度の若葉祭のスローガンは、「Full Throttle」。何事にも全力で取り組もうというスローガンの通り、仲間と力を合わせひとつの目標に向かって、生徒達が、自分たちの手で創り上げてきました。午前中の文化の部では、それぞれの学級で何をするか話し合い、学級の仲間とひとつのものを創り上げる楽しさを味わうことができましたと思います。また、吹奏楽部の演奏では、夏休み中にあるコンクールに向けて努力して取り組んできた曲を披露するとともに、工夫を凝らした構成で全校生徒を盛り上げていました。美術部の発表は、3人の主人公が西中学校の図書館を舞台に童話の世界に飛び込んでいくという設定で読書の楽しさを劇で伝えていました。そのときに思いを込めて描いた絵が正面玄関のグランド側に展示してあります。本校にお立ち寄りの際は、是非ご覧になってください。最後の全校合唱においては、合唱委員会が中心となり、夏休み前から練習を重ねてきた「ひまわりの約束」を歌うことができました。先輩の一生懸命に取り組む姿を見て、後輩はそれぞれ思いを感じ取り、次の世代に伝えていくこととなります。そういう意味で全校合唱の取組は、それぞれの学年にとっての学びがあります。午後の体育の部においては、学級、縦割りブロック、全校と仲間意識を持って団結し、コロナ禍で全力を出し切ることができなかつた思いを爆発させていました。仲間と取り組む素晴らしさ、先輩の姿を見て「自分も・・・」と思える学びの場、心をひとつにできたときの喜びは、体験しなくては味わえないことです。中学校生活でつかみ取り、かけがえのない人生の宝物にしてもらいたいものです。

